

美術☆夏休みの課題「美術館へ行こう！」

美術館や美術展に出かけ芸術を鑑賞し、印象に残った作品の感想をまとめて、9月3日(月)に提出。

※9月3日はクラスごとにまとめて美術準備室前のBOXに提出してください。

★鹿児島市立美術館「ミュシャ展～運命の女たち～」→→入場受付で学校名を伝えると入場料が200円で鑑賞できます。通常、中学生の入場料は600円です。

※上記以外の美術館・美術展でもかまいません。

- ☆学芸員によるギャラリートーク：7/28,8/11,8/25(土) 14:00~15:00
- ☆記念ワークショップ 8月5日(日) 10:00~16:00「はじめてのリトグラフ」
- ☆夏休みワークショップ8月19日(日) 10:00~11:30または13:30~15:00
「(仮)花の妖精のすみかをつくろう!~ミュシャ風塗り絵とオブジェ~」

※各ワークショップは、事前の申込み及び材料費が必要です。興味と日程があったら参加してみましょう。詳しくは美術館ホームページで確認してください。

氏名	3年	組	番	行った日	8月19日(日)
				美術館・美術展名	ミュシャ展 - 運命の女たち -

作品名	モラヴィア 教師合唱団	作者名	アルフォンス・ミュシャ
感じたこと			
この絵は1911年に描かれた絵でとても美しい女性がピクニックを楽しんでいるかのように感じられます。絵本の赤ずきんのようにも見えます。この絵は「合唱団」という題名だが、中心にいる女性は歌っていないため背景に書かれた森林などの自然や鳥が歌っているのではないかと思いました。			

作品名	《スラヴ叙事詩》展	作者名	アルフォンス・ミュシャ
感じたこと			
この絵はミュシャが娘をモデルにしたポスターで1928年に描かれました。ハープをひいており、何かの儀式をしているかのように感じられます。また、背景には顔が3つある阿修羅のような人物が書かれていて、叙事詩なのでこれは神様の1人なのかなと思いました。			

作品名	黄道十二宮	作者名	アルフォンス・ミュシャ
感じたこと			
背景に12支が描かれており、古代のヨーロッパを思わせるような絵だなと思いました。また、占いをしているかのような女性が書かれているため、とても宇宙を思わせる神秘的なポスターだと感じられました。			

※鑑賞レポートは、2学期の評価材料となります。